



ジャパン・プラクティス

ローウェンスタイン・サンドラーは、日本企業が米国で事業を展開し、プレゼンスを高めていく過程を総合的にサポートしています。

当事務所は、取引、規制対応、訴訟といった幅広い分野で、日本企業およびその米国子会社の皆さまをサポートしてきた豊富な実績があります。クライアントが米国の法規制を的確に把握しつつ、安心してビジネスを進められるよう、国ごとに異なる法制度やビジネス文化の違いを踏まえ、実務的かつ丁寧なリーガルサービスを心がけています。

M&A（合併・買収）、ジョイントベンチャー、ベンチャーキャピタル投資など、クロスボーダー案件にも多く携わっており、各分野の専門家が連携して対応します。国際貿易、国家安全保障の分野では、貿易リスクの緩和、コンプライアンスの徹底、政策当局とのコミュニケーション支援など、複雑化する国際ビジネスの現場に即したサポートを行っています。また、金融サービス、フィンテック、ライフサイエンス、製造、エレクトロニクスといった多様な業界での経験を活かし、急速に変化する貿易規制や経済制裁、新たなテクノロジー（AI等）への対応についても、グローバルな視点からアドバイスしています。OFAC制裁、CFIUS審査、輸出入規制など、米国特有の規制にも精通しています。

知的財産、税務、不動産、雇用法など、企業活動に不可欠な分野も含め、各分野の専門家が協働し対応します。独占禁止法や競争法に関連するアドバイス、価格操作や談合に関する調査・訴訟対応、不動産の取得から開発、環境デューデリジェンスまで、企業の成長と安定した事業運営を長期的にサポートします。

私たちは、法律の専門知識と業界理解を基盤に、日本企業が米国をはじめとするグローバル市場で持続的に成長できるよう、きめ細やかなサービスを提供しています。

関連するプラクティス

- 企業法務全般（M&A、企業ガバナンス・コンプライアンス、キャピタルマーケット、商事契約、トランザクションアドバイザリー業務等）
- 国家安全保障法・国際貿易規制・政府調査対応（反トラスト法、FCPA等）
- 国際法実務（アフリカ実務、イスラエル実務等）
- 雇用法・リストラ・従業員福利厚生・報酬
- 新興企業・スタートアップ・ベンチャーキャピタル
- 訴訟等紛争（一般民事、集団訴訟、製造物責任法、知的財産侵害訴訟、ホワイトカラー弁護等）
- ファンド組成・ブローカーディーラー規制・投資関連規制
- 知的財産権・商標・著作権・企業秘密
- デッドファイナンス業務
- デリバティブ・ストラクチャードファイナンス業務・証券取引関連
- 家族法
- 環境法
- クリプト関連規制
- サイバーセキュリティ
- 税務
- テクノロジー
- 倒産
- 不動産
- フィンテック
- プライバシー
- プライベートエクイティ
- プロボノ
- 保険法
- ライフサイエンス